

## <前回の議論における確認事項>

※ 前回の御議論を踏まえ、事務局において改めて明確化が必要と考えられた事項について、日本糖尿病学会等の関係者から事情を聴取して、とりまとめた事項は以下のとおり。

### ○新基準への移行について

前回の日本糖尿病学会からの説明の中で、HbA1cについて、現在、国際標準となっているNGSP値に相当する値による表記に変更した後、更に間を置かずIFCC値という新たな表記に変更される見込みと誤解されるような発言があった。これについては、国際標準として現在用いられている表記は、あくまでもNGSP値であり、現時点では、将来IFCC値を国際標準として取り扱う方向性が学術的レベルで決まっているのみで、諸外国においても臨床現場で移行の見込みが具体的にたっている状態ではない。

国際的な情報の共有化等の観点から、速やかなNGSP相当値への表記の移行が求められている。

### ○健診実施機関における対応について

また、健診実施機関において、例えば、健診受診者に対しては、新基準のNGSP値による表記を行った健診結果を通知しつつ、保険者に対しては、旧基準のJDS値に基づく報告を行う、というように用途に応じて表記を変更することは困難との意見があった。

なお、前回の議論では、保険者において、平成25年度において、保健指導の階層化に係るシステム改修を行うことについては大きな異論はなかったと考えられる。

### ○日本糖尿病学会の方針

日本糖尿病学会の方針としては、あくまでも臨床や健診の現場でのNGSPに相当する値による表記の導入については、平成24年4月から行いたいとの立場。

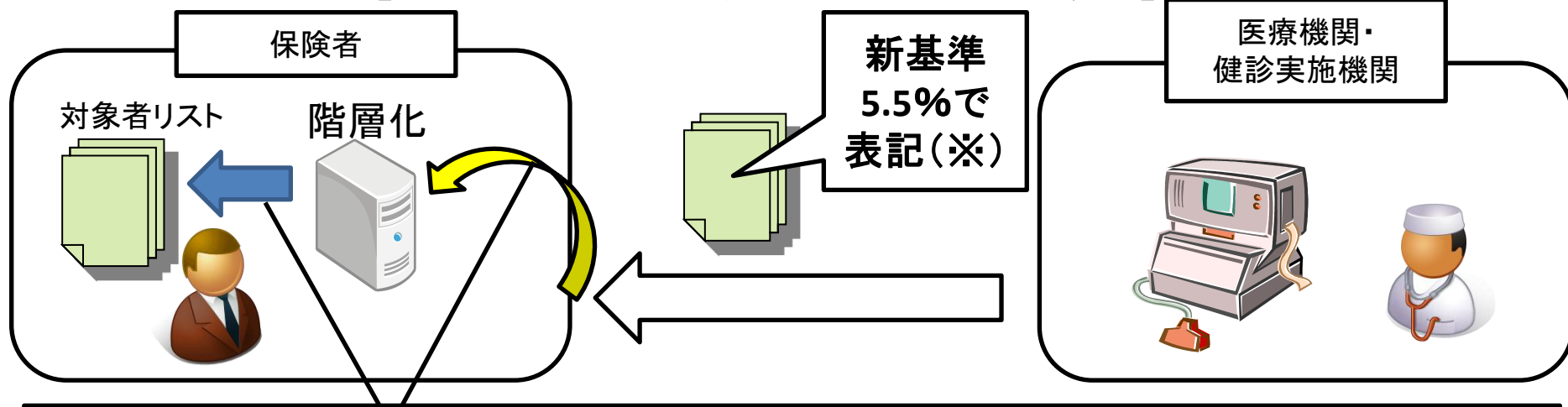
○平成24年4月から臨床・健診の現場においてHbA1cの表記が一斉に変更となる場合に、保険者や健診実施機関等においてどのような対応があるか、検討する必要。

# ①平成24年度に保険者において対応をする場合の例

○平成24年4月から臨床・健診の実施場所でのHbA1cの表記が、新たにNGSP相当値(現在の基準よりも表記上、0.4程度高くなる)となった場合、保険者に対しての報告もNGSP相当値となるが、保険者における階層化のシステムは従来通り、旧基準のJDS値によるものとなっているため、例えば以下のように保険者における対応が必要となる。

※現在、「標準的な健診・保健指導プログラム」においては、健診実施機関が、各検査項目について検査項目や検査方法を、日本臨床検査医学会が定めるJLAC10コードに基づいて報告を行うこととなっているが、本件により、JLAC10コードの対応が必要か否かは別途検討する必要。

## 【HbA1cの値が旧基準(JDS値)で5.1%の場合】



○保険者における階層化に係るシステム改修は平成25年度からの対応となるため、

- ①保険者において、階層化の前に新基準による表記であるHbA1cの値から一律に0.4を差し引いた上で階層化を行う、又は
- ②一旦、新基準の表記のまま階層化をした上で(したがって、実際より多く対象者を抽出した上で)、対象として抽出された者のうち、HbA1cの値が5.6%未満の者を対象者から除外する(階層化の基準がJDS値で5.2%以上のため)、

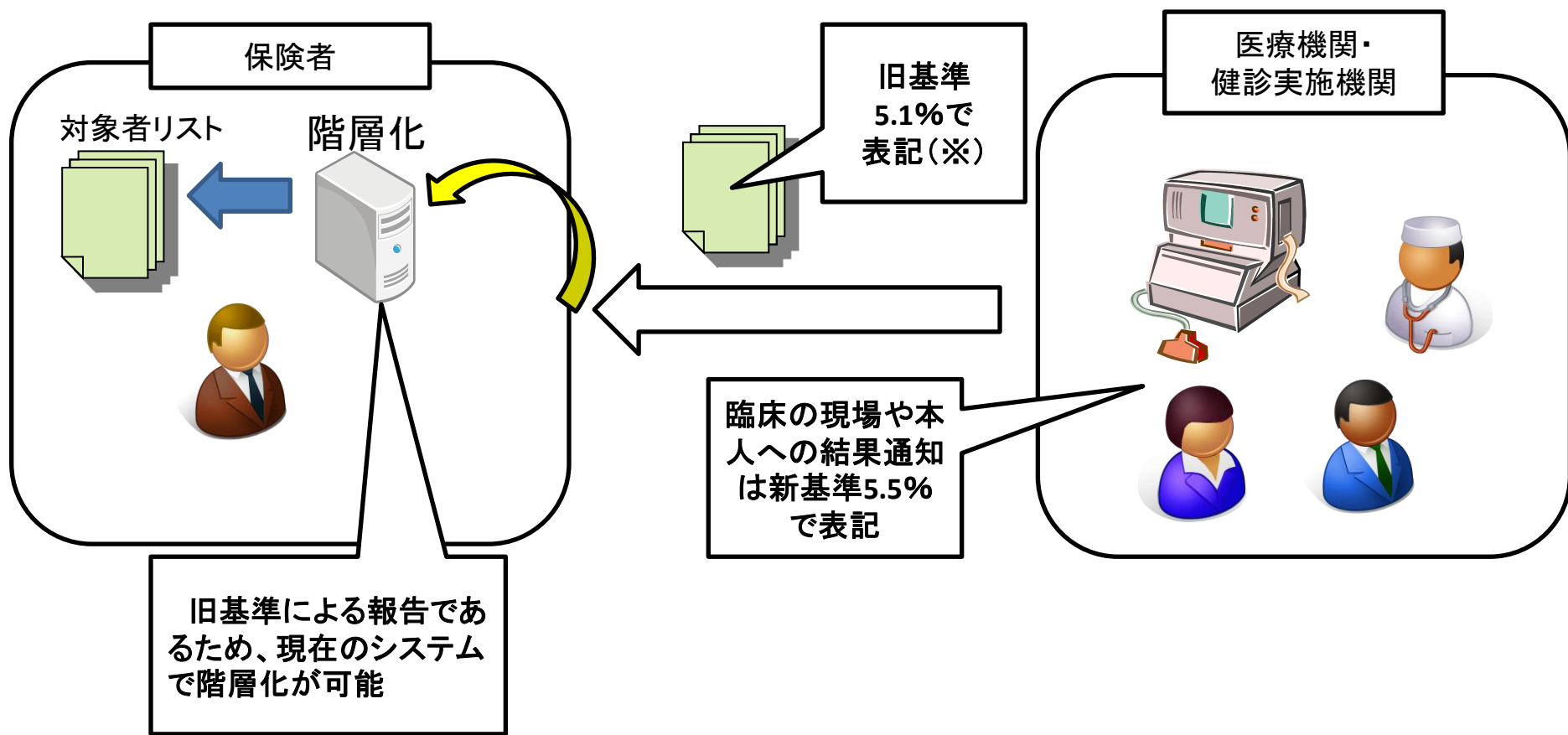
といった措置が必要となる。なお、いずれの場合においても、保険者や国のデータベースに実績が保存される段階では過去のデータとの整合性が担保される必要がある。

(※)新基準(NGSP相当値)による表記である旨を健診結果に明記し、保険者において確認ができるようにする。

## ②平成24年度に医療機関・健診機関において対応する場合の例

○前ページの保険者における対応が困難な場合には、健診実施機関において結果通知を旧基準に基づいて保険者へ報告する必要がある。この場合、健診の実施を行う医療機関においては、通常の臨床の現場においては新基準による表記を行い、健診の保険者への実績報告は旧基準で行う、との2通りの対応が必要となる。

### 【HbA1cの値が旧基準(JDS値)で5.1%の場合】



(※)旧基準(JDS値)による表記である旨を健診結果に明記し、保険者において確認ができるようにする。

# ③HbA1Cの検査値を新旧併記して対応する場合の例

○折衷的な対応として、健診結果等については新基準と旧基準を併記して対応することはできないか。この場合、保険者へのXML形式での報告についても新基準に対応するコードを付した上で報告させることとしつつ、平成24年度は保険者のシステム対応はないため、当該新コードは読み込まれないこととなる。

(現行)

特定健康診査受診結果通知表

(案)

項目	検査結果	受診勧奨判定値
⋮	⋮	⋮
血糖	空腹時血糖	110mg/dl未満
	HbA1C	6.1%未満
⋮	⋮	⋮



項目	検査結果	受診勧奨判定値	
⋮	⋮	⋮	
血糖	空腹時血糖	110mg/dl未満	
	HbA1C	JDS(旧)	6.1%未満
		NGSP(新)	6.5%未満
⋮	⋮	⋮	

※ HbA1Cについては現在国際基準への移行中であるので、結果を2つ表示していますが、どちらも同じ結果を示しています。

XML上の表記

JDSの表記は、  
現行と変わらず。

```
<entry>
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
<code code="3D04500001906202" displayName="HbA1C"/>
<value xsi:type="PQ" value="6.1" unit="mg/dL"/>
</entry>
```



```
<entry>
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
<code code="3D04500001906202" displayName="HbA1C"/>
<value xsi:type="PQ" value="6.1" unit="mg/dL"/>
</entry>
```

```
<entry>
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
<code code="3D04500001906202" displayName="HbA1C(NGSP)"/>
<value xsi:type="PQ" value="6.5" unit="mg/dL"/>
</entry>
```

保険者では読み込まない

※保険者への報告も新旧基準併記となるため、明確化できる上、旧基準のコード表記を変えないため、階層化のシステム改修の必要性もない。

※※保険者において新基準部分のみを読み込まない、とする処理ができない場合(データが全体としてエラーになる場合)、JDS値のみで報告(現状と全く同じ方法)することも検討。

# 考えられる対応のパターン

	概要	留意点
①保険者による平成24年度暫定対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成24年度から臨床・健診の現場は新基準に移行。保険者への実績報告も新基準。</li> <li>○保険者において、平成24年度は新基準を旧基準の表記に変換して階層化するか、又は階層化した後に旧基準に修正を加えるか対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保険者において、階層化の前に新基準を旧基準の値に置き換える、又は新基準によって階層化した後に旧基準に基づく対象者をさらに絞り込むなどの事務コストが発生。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保険者において、平成24年度は、空腹時血糖のみを階層化に使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成24年度は、HbA1cを用いた階層化ができないこととなる。</li> </ul>
②医療機関・健診機関による平成24年度暫定対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機関・健診実施機関において、診察・健診結果等においては平成24年度から新基準。</li> <li>○医療機関・健診実施機関から保険者への実績報告は平成24年度は、旧基準で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機関・健診実施機関において、健診の保険者への報告と患者・受診者への結果通知で2通りの表記が必要となる。</li> </ul>
③新旧基準併記による対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健診結果と保険者への報告について新旧基準の表記を併記する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保険者において新基準表記のデータを読み込まないとの処理が可能か。できない場合、JDS値のみでの報告となるが、XML形式上、新基準による表記なのか、旧基準による表記か判然しないこととなる。</li> <li>○全ての健診実施機関等で、新旧基準併記による対応を行う必要。</li> </ul>
④25年度から全て対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機関・健診実施機関において、平成24年度は旧基準。</li> <li>○保険者への実績報告も平成24年度は旧基準で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本糖尿病学会は平成24年度から臨床・健診の場での施行を希望。</li> <li>○平成24年度の診療報酬改定に併せたシステム改修にあわせられない。</li> </ul>
⑤保険者のシステム改修を24年度に対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機関・健診実施機関において、診察・健診結果等においては平成24年度から新基準。</li> <li>○保険者において階層化システムの改修を24年度に行い、24年度から実績報告も新基準で受け取り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保険者においては平成25年度のシステム改修と併せて行うことができなくなるため、追加的なコストが発生。</li> </ul>



# 新しい糖尿病診断基準とHbA1c国際標準化への移行

日常臨床・検診・健康診断など

英文論文や国際学会の発表

2010年5月26日  
新しい診断基準の策定

現行のHbA1c  
(JDS値)

現行のHbA1c  
(JDS値)

2010年7月1日  
新しい診断基準の施行  
啓発・広報活動

準備活動

現行のHbA1c  
(JDS値)  
を継続して  
使用

2010年7月1日以降

国際標準化  
された  
新しいHbA1c(国  
際標準値)  
に変更

2011年8月1日(希望)  
新しいHbA1c  
(国際標準値)への  
全国一斉変更日時に  
関する告知

広報活動

2012年4月1日以降

国際標準化された  
新しいHbA1c  
(国際標準値)  
に変更

2012年4月1日(希望)  
国際標準化変更日

新しいHbA1c(国際標準値)への  
全国一斉変更を実施